



# 活動レポート

2023年  
7月

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
2023年7月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

## ファクトチェックの認知・信頼向上に関する取組み

### ▶ハフポスト日本版のファクトチェック記事掲載を開始

ファクトチェック・ナビへの[ハフポスト日本版の記事](#)の掲載を始めました。



ハフポスト日本版は今年5月のBuzzFeed NEWSとの統合を経て、6月からファクトチェックに取り組み、7月末までに5本の記事を発表しています。FIJでは疑義言説データベースClaimMonitorへのアクセスを提供し、記事の作成を支援しています。

### ▶ファクトチェック・ナビの更新

7月には、11件の[ファクトチェック結果](#)、23件の[誤情報関連ニュース（リンク集）](#)を登録しました。

## ファクトチェック支援システムの運用

### ▶疑義言説の収集状況

疑義言説データベース[ClaimMonitor](#)の7月の新規登録件数は127件でした。主なトピックと件数は、ウクライナ(11件)、フランス暴動(11件)、岸田首相(10件)。昨年の水害時にはAI生成画像が話題となりましたが、7月の九州と秋田の水害については被害状況を誤認させるような偽情報の広い拡散は確認されず、一方で首相や内閣の被災地対応に関する疑わしい言説が複数確認されています。

## 理事の対外活動・メディア出演等

●奥村信幸理事が、6月にソウルで開催されたファクトチェックの国際会議のレポート「[Global Fact10報告](#)」をYahoo!ニュースエキスパートで発表、7月16日の第1回から月内に4本が掲載されています。

●古田大輔理事が7月31日、中学生・高校生向けのワークショップ「[SNS上の偽情報を見抜け！中高生と考える情報戦](#)」（主催：公益財団法人笹川平和財団）で講師を務めました。（[TBS NEWS DIGの報道](#)）



今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。